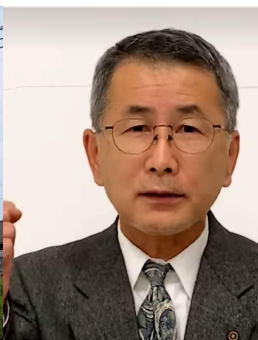


飯塚市議会は、議会運営委員会と4つの常任委員会が全面的に機能停止中です。議長権限の濫用が原因です。

江口徹議長はこれからの時期に求められる議長権限の正しい行使への力をすでに失っており、事態打開の見通しがまったく見えないばかりか、議会運営を再び誤りかねない状況です。事態打開へ速やかな議長辞職が求められます。



QRコードは
日本共産党H
P記事



日本共産党飯塚市議
川上直喜

事態打開へ議長辞職速やかに

●飯塚市議会は9月30日、江口徹議長に対する辞職勧告決議を可決しました（賛成19・反対4）。日本共産党の川上直喜市議が提出し、5つの会派の代表が賛同者となりまりました。

議長権限濫用の再発防止のための委員会条例改正が、全会一致で可決したことを受けてのもので（10月8日公布）。議長会派は辞職勧告決議案に反対討論はしませんでした。賛成するには至りませんでした。

●提出前の緊

急質問での川上市議の質問に、江口議長は市議会が混乱していることにはお詫びするとし、ものの、閉会中の全員指名（総入れ替え）をしたことについては法律の範囲内であると繰り返すばかりで、議

長権限の濫用と認めきれず謝罪に至りませんでした。●このため会派・議員との調整は極めて困難な状況で、議会運営委員会と常任委員会の機能回復は見通しが立たないままです。

6月6日から9月30日 議長権限の濫用で
議運・4常任委が全面停止

江口徹議長に辞職勧告 飯塚市議会が決議

議会機能を回復し、
市民に責任を果たすため

9月
30日

江口議長が委員会条例但し書きを理由にするのは、立法趣旨に反するとの全国市議会議長会の指摘を無視したものであることが、これまでの質疑で明らかになっています。辞職勧告決議は議長権限濫用であると指摘しています。



クツキリ



横断歩道のゼブラ 潤野牟田の通学路

ほとんど消えていた横断歩道のゼブラが、真っ白に塗り変わりました。この市道は通学路でもあり、地元のみなさんから改善の要望が市役所に届けられていま

した。潤野牟田公民館付近です。

花瀬方面から下り坂で、ゆるやかにカーブしているため見通しが悪く、十分注意が必要なところでは

なぜ住民説明会 しないのか

816億円

新ごみ処理施設計画

設計・建設と運転（20年間）を一括発注

《一般廃棄物処理施設建設事業（一部事務組合への負担金）》

ふくおか県央環境広域組合負担金

区分		R6 推計	R7 推計	R8 推計	R9 参考値	R10 参考値	R11 参考値
事業費		0.0	28.9	41.8	77.8	77.8	64.9
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債		23.5	34.6	66.7	66.7	55.5
	その他						
一般財源 A		0.0	5.4	7.3	11.2	11.2	9.3

●飯塚市財政見通し（2024年8月公表）より

飯塚市負担金は、なんと 建設費だけで291億円

総事業費816億円（建設費・管理運営費）という新ごみ処理施設で、住民に対する説明は

日本共産党の川上直喜市議は、飯塚市議会の一一般質問で4回続けて取り上げています（議会だより6月号、9月号をご覧ください）。

ふくおか県央施設組合によれば816億円の内訳は、設計・建設費約445億円、運営費（20年間）約300億円、その他約71億円（用地取得造成費約40億円・地域振興費約10億円・温水プール等約21億円）です。このほかに既存施設解体費が発生します。飯塚市の負担金は、どうなるのでしょうか。市の財政見通し（昨年8月公表）では、用地造成工事・建物工事費約509億円から国庫支出金を除いて人口割で計算すると、飯塚市の負担金は約291億2千万円で、財源は借金247億円、一般財源44億4千万円となっています。